

会員数	34,886	(前月比) +306
郵送	8,697	(前月比) - 52
手配り	24,584	(前月比) +124
協同基金到達額	2,280,906,000円(11/30現在) [前月比 51,144,000増]	
協同基金出資者数	12,063名(11/30現在)	
いのちを守る助け合い募金額	19,577円(11/1~30)	

さらなる飛躍を!



賀正



健康友の会みみはら
会長 森島嘉之

「知」に「力」をつけましょう

新しい年を新しい喜びと共に迎えられたことと思います。私たちの運動は、あらゆる分野で改悪オンパレードの悪政に対する後追いになっていきます。この克服に向けた「民医連らしい地域包括ケア」の取り組みは重要な意義を持つものだと思います。

か。企業が潤ってこそ国民も豊かになる、恩恵が降り落ちるというトリクルダウン論にごまかされないよう「知」に「力」をつけましょう。

「100年安心」と言われた年金も10年ともたなかったではありませんか。政治の歪みによる格差の拡大は止まるどころ知らずです。巨大企業が溜め込んだ内部留保の額は285兆円に上るとか。それはどれほどの額なのか、毎日100万円ずつ使い続けて無くなるまで78年以上です。このほんの一部を労働者の賃上げや正規雇用に使って何が悪いのでしょうか。

勇気をもって消費税なくせ、賃金上げの声を上げようではありませんか。若者に未来がない社会に、高齢者の幸せがあろうはずはありません。喜びが続く年にいたしましょう。



12月

南花田支部

毎年12月は『もちつき大会』もち米44キロをつけて、小餅にして、バック詰め。担い手さんにプレゼントして喜ばれています。当日は、ぜんざいやきな粉や大根おろしでつくって餅を堪能!(美味しいよお~)



講師を務めた斉藤理事長

22番目の支部

向ヶ丘支部結成!

11月

11月13日(木)、向ヶ丘支部の結成総会を向ヶ丘校地域会館で開催し、健康友の会みみはら22番目の支部が誕生しました(上野芝向ヶ丘町、北条町、堀上緑町、平岡町が対象地域で、会員数904世帯)。当日は、風も強く寒い日でしたが、心が配られました。会場いっぱい24人が参加しました。

前田事務局長からは、「友の会とは何を目的にした組織なのか」「耳原や民医連とは」を、その歴史も含めて話していただきました。斉藤理事長の学習会では、内科医として健康で長

生きる秘訣を、様々な研究データをもとに話していただき、友の会の活動がびつたりと当てはまっています。ぜひ積極的に参加して欲しいと話されました。

10人の世話人で、会員のみなさんと共に楽しく活動を進めていきますので、様々な取り組みへのみなさんの参加をお待ちしています。



聴診器

「長目の浜」の写真が素敵で、行ってきました。鹿児島県薩摩川内市に属しています。定期点検中の1号機2号機の再稼働に鹿児島県知事が賛成した、問題の九州電力の川内原子力発電所から海を挟んだ西側にあり、上甕島は原子力発電所から30km圏内にあります。◆「長目の浜」は上甕島の北東の浜辺にあり、海と湖を隔てる約2kmの砂州が右側の堆積でできている。海が砂州をとって湖に入ってきています。その為湖の水は海水に近く、汐の満ち干に数時間遅れて湖面が上下するそうです。なまこ池にはシマイサキ、ボラ、キヌ、アコヤガイ、なまこがいるけれど、となりの貝池には硫化水素が溜まっている層があるので人間は特別な装置がないと潜れないのだそうです。砂州にはウバメガシが密生していて緑が美しく、海の水は澄んでおり、雨模様でしたが、展望台からの眺めは霞みながらもすばらしかった。道中のツブブキの黄色い花回廊も美しく、川内原発が事故を起こしたら、この美しい所に入れなくなるという残念な事になります。島の観光課からわたされたアンケートに「川内原発の再稼働に反対です」と書いてきました。(山上佳代子)